

HiPeR 研究拠点が自立型拠点へと昇格しました

2020/6/4に第4期広島大学インキュベーション研究拠点最終評価会が開催され、審査の結果、HiPeR研究拠点が「インキュベーション研究拠点」から「自立型研究拠点」へと昇格しました。加えて、最先端国際プロジェクトとしても認定されました。認定期間は5年間で2025年3月31日までとなります。

【研究拠点名称】 プレート収束域の物質科学研究拠点

【審査結果】 自立型研究拠点および最先端国際プロジェクトとして認定

【認定期間】 2025年3月31日

下記がいただいた付帯意見になります。

プレート収束域の物質科学研究拠点は、評価項目（①研究成果、②拠点活動、③将来に向けた構想）において自立型研究拠点に求める基準に到達しており、大学の「顔」として自立型研究拠点として認定することがふさわしいとの結論に至った。

さらに、学際的な魅力ある教育研究活動を進めていけると期待されることから、最先端国際プロジェクトとしても認定することとした。

今後も引き続き、学際融合の促進等による研究成果の更なる発信、大型研究プロジェクト資金の獲得等、自立した拠点活動を期待する。

広島大学の研究拠点については下記のHPをご覧ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/ru/aboutcore/Excellence>



HiPeR

Hiroshima Institute of Plate
ConvErgence Region Research